

平成25年度災害関連補正予算の概要

[災害対策 9月補正（追加分）]

平成25年9月萩市議会定例会

平成25年9月

萩市総務部財政課

■ 補正予算の概要

7月28日、山口県付近に発達した雨雲が次々と流れ込み、早朝から昼過ぎにかけて、萩市東部で猛烈な雨となりました。1時間の降水量は須佐で138.5ミリと観測史上最大の雨量となり、午前9時20分からの3時間に7月の月降水量の平均値（281.6ミリ）を上回る301.5ミリを観測する記録的な豪雨となりました。この大雨により大規模な土砂災害や浸水害が発生し、多数の家屋の損壊や床上浸水、水道施設の被災による断水、汚水処理施設の損壊、さらには道路などの交通網の寸断など、市民生活や経済活動に大きな打撃を受けたところです。

今回の補正は、この状況に対応し、被災地の1日も早い復旧・復興のため、円滑な事業の着手に向け、これまでの3回の豪雨災害関連補正予算に続き、事業費の調整等に時間がかかり先の補正予算に計上が間に合わなかった事業で、本格復旧に向け早期に必要な準備経費や準備の整った本格復旧経費等を主とする4回目の補正を行うものです。

なお、今回計上する事業は、全て7月28日の豪雨災害の復旧事業に係る予算です。

■ 今回補正する会計及び各会計ごとの補正予算額

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	補正予算額
一般会計	第8号	5億8,101万5千円
国民健康保険事業（直診勘定）特別会計	第3号	479万5千円
簡易水道事業特別会計	第4号	1,220万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	第2号	4,849万1千円
農業集落排水事業特別会計	第2号	1億1,640万5千円
個別排水事業特別会計	第1号	196万4千円
今回の補正予算額 計		7億6,487万円

■ 一般会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
334 億 4,463 万 5 千円	5 億 8,101 万 5 千円	340 億 2,565 万円

2. 歳出予算の主な事業内容

■職員人件費（7,238万1千円）

【予算説明書8ページ 一般管理費】
（担当課：総務課）

豪雨災害により、災害への応急対応、被災者の生活再建支援業務及び災害復旧・復興業務に係る職員の時間外勤務が相当発生しているため、必要となる時間外勤務手当について補正を行います。

〔財源内訳〕 雑入（災害基金処分交付金） 7,238万1千円

■普通財産解体事業（1,519万2千円）

【予算説明書8ページ 財産管理費】
（担当課：財産管理課）

被災した須佐地区の普通財産について、被害が大きく今後の利活用が難しくなったため、解体を行います。なお、解体後の跡地については、広場等としての利活用を検討します。

解体する普通財産：○旧清水医院 鉄筋コンクリート造3階建て 1棟
○旧清水医院倉庫 木造平屋建て 1棟
○旧清水医院住宅 木造2階建て 2棟
木造平屋建て 1棟

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 205万4千円
雑入（災害基金処分交付金） 1,313万8千円

■災害復興局事務事業（164万5千円）

【予算説明書8ページ 復興対策費】
（担当課：災害復興局）

9月17日に復旧・復興や生活再建支援について一元的に取り組む専従組織「災害復興局」を設置したことから、必要となる事務費を計上します。

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 164万5千円

■軽自動車災害補助金交付事業（280万9千円）

【予算説明書8ページ 賦課徴収費】
（担当課：税務課）

被災者の援護を図るため、豪雨災害により廃車となった軽自動車等の納税義務者に対し、被災後の軽自動車税の税額相当額を災害補助金として交付します。

対象者：7月28日の豪雨災害により廃車となった軽自動車等の納税義務者
（ただし、市税等の市の債権に滞納がある者等を除く。）

交付額：被災後の税額相当額

対象車両台数（推定）：841台

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 280万9千円

■災害救助事業（197万7千円）

【予算説明書9ページ 災害救助費】
（担当課：福祉政策課）

県が整備する仮設住宅入居までの避難者に対する食糧費、入居後の仮設住宅の維持管理経費及び災害ボランティアの宿泊に係る経費について、必要な経費の追加を行います。

事業内容：○避難者に係る経費

食糧費 45万円

○仮設住宅維持管理経費

修繕料 100万円

合併浄化槽維持管理業務委託料（下小川仮設住宅分）14万9千円

○災害ボランティア宿泊経費

セミナーハウス宿泊施設借上料 37万8千円

[財源内訳] 民生費県委託金 36万3千円

雑入（災害基金処分交付金） 161万4千円

■需要対応型産地育成事業（69万2千円）

【予算説明書10ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

被災した萩市の主要品目であるトマトの栽培施設について、産地の復旧への負担を軽減するため、復旧に取り組む法人に対して必要な経費を支援します。

実施主体：農事組合法人 いつくしま めぐみ
 巖島の恵

総事業費：104万円

事業内容：トマト栽培ハウスの養液土耕システムの復旧

負担割合：市 1/3、県 1/3、実施主体 1/3

萩市の予算額：104万円×2/3 69万2千円

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 34万6千円

雑入（災害基金処分交付金） 34万6千円

■被災農業者経営体育成支援事業（5,820万円）

【予算説明書10ページ 農業振興費】

（担当課：農政課）

豪雨により被災した農業者が農業経営を維持していくために、農産物の生産に必要な施設・機械の復旧等を緊急的に支援します。

対象者：農業用施設等が被災し、施設の復旧等を行うことにより、農業経営を志向する農業者

支援対象：①農産物の生産に必要な施設の復旧又は被害前の当該施設と同程度の施設の取得
②農産物の生産に必要な施設を修繕するために必要な資材の購入
③上記①と一体的に復旧し、又は取得する附帯施設の整備
④農産物の生産に必要な農業用機械（耐用年数を経過したもの及び修繕により利用できるものを除く。）及び附帯施設（修繕により利用できるものを除く。）の取得（被災前と同程度のもの）

・対象となる施設

農業用ハウス、育苗施設、農機具格納庫、乾燥調製施設、畜舎等

・対象となる農業用機械

トラクター、田植機、コンバイン、乗用管理機等

総事業費：9,700万円

負担割合：市 15%、国 30%、県 15%、実施主体 40%

萩市の予算額：9,700万円×60% 5,820万円

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 4,365万円

雑入（災害基金処分交付金） 1,455万円

■ 農業者災害対策資金利子補給事業（31万3千円）

【予算説明書 10 ページ 農業振興費】
（担当課：農政課）

豪雨災害により被災した農業者の経営再建を図るため、JAあぶらんど萩が取り扱う農業災害緊急対策資金を借りた農業者に対して、利子補給を行います。

利子補給対象者：7月28日の豪雨災害により、経済的被害を受けた農業を営む個人、団体及び法人等（ただし、市税等の市の債権に滞納がある者等を除く。）

利子補給金額：融資額に対する年0.5%の利子額

利子補給期間：融資を受けた日から10年間

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 31万3千円

--【参考】JAあぶらんど萩の農業災害緊急対策資金制度-----

貸付機関：JAあぶらんど萩

貸付対象者：7月28日の豪雨災害により、経済的被害を受けた農業を営む個人、団体及び法人等

貸付限度額：個人1,000万円以内 団体及び法人2,000万円以内
※農業実損失額を限度
※農業共済組合等からの補償がある場合は控除

貸付期間：①作物の被害等により減収となる場合の農業経営再建のために必要な資金として借りる場合
⇒7年以内（2年以内の据置期間を含む。）
②農業用機械器具に損害を受け、その修理買換えのための資金として借りる場合
⇒7年以内（2年以内の据置期間を含む。）
③農業施設や設備に損害を受け、その修繕建替えのための資金として借りる場合
⇒20年以内（3年以内の据置期間を含む。）
④農地や農地周辺の畦畔等の土地又は水路等の施設に損害を受け、その復旧のための資金として借りる場合
⇒20年以内（3年以内の据置期間を含む。）

貸付利率：1.0%（うち0.5%分はJAグループが補てん）

貸付取扱期間：平成26年3月20日までの申込み

■中小企業者災害対策資金利子補給事業（798万6千円）

【予算説明書 10 ページ 商工業振興費】

（担当課：商工課）

豪雨災害により被災した中小企業者が、事業再建のために山口県及び政府系金融機関、民間金融機関から借り入れた災害復旧資金に対して、利子補給を行います。

対象者：7月28日豪雨災害において、り災証明を受けた中小企業者
（ただし、市税等の市の債権に滞納がある者等を除く。）

貸付取扱期間：平成26年3月20日までの申込み

対象融資資金：①山口県（中小企業制度融資・経営安定資金）
②日本政策金融公庫（国民生活事業・災害復旧貸付金）
③日本政策金融公庫（中小企業事業・災害復旧貸付金）
④商工組合中央金庫（災害復旧貸付金）
⑤山口銀行（水害緊急対策資金）
⑥西京銀行（災害復旧支援融資）
⑦萩山口信用金庫（萩山口しんきん災害復旧資金）

利子補給期間：上記期間内に融資を受けた日から3年間

利子補給対象融資上限額：

○上記①の山口県中小企業制度融資を活用する場合は8,000万円

○その他の上記②～⑦の資金を活用する場合は3,000万円

※上記①の資金か上記②～⑦の資金のいずれかを活用

利子補給金額：支払利子額の全額（延滞利子を除く。）

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 798万6千円

■消防団災害対応事業（322万3千円）

【予算説明書11ページ 非常備消防費】
（担当課：消防本部総務課）

豪雨災害に伴い、出動した各方面団の消防団員に対して出動報酬を支払います。

活動内容：避難誘導、災害救助、安否確認、行方不明者の搜索等

出動延べ人員：○中央方面団	34人
○田万川方面団	241人
○むつみ方面団	55人
○須佐方面団	137人
計	467人

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 322万3千円

■避難所用資機材整備事業（143万2千円）

【予算説明書11ページ 災害対策費】
（担当課：防災安全課）

豪雨災害に伴い、流出及び避難者等に支給した災害備蓄食糧について、備蓄計画に沿って補充を行い、今後の災害に備えます。

購入する備蓄食糧：○ビスケット	2,280食
○アルファ米	2,200食
○飲料水	3,960本

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 143万2千円

■ 図書館資料整備事業（70万円）

【予算説明書12ページ 図書館費】
（担当課：萩図書館）

被災した須佐図書館について、浸水により利用不能となった移動図書館の図書資料及び貸出先で被災し破損・流出した図書資料等について補充を行います。

購入予定備品：○図書 400冊
○ビデオ及びDVDソフト 30点

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 70万円

■ 農業施設災害復旧事業（1,580万7千円）

【予算説明書12ページ 農業施設災害復旧費】
（担当課：農政課）

被災した小川地区の担い手定住促進住宅の復旧を行います。なお、被災した合併処理浄化槽の復旧については、17ページに記載の事業で行います。

復旧住宅戸数：3棟3戸

事業内容：○事務経費等 59万2千円
○建物、外構、電気・機械設備の復旧 1,521万5千円

[財源内訳] 市債 1,520万円
雑入（災害基金処分交付金） 60万7千円

■土木施設災害復旧事業（2,357万2千円）

【予算説明書13ページ 土木施設災害復旧費】
（担当課：土木課）

8月補正で予算計上した市道や河川の土砂取り除き等に係る経費が不足することから追加計上を行います。また、小川地区の市道神田上線^{しんでかみせん}について、山口県が護岸改修工事を行うことから、併せて復旧工事を行います。

事業内容：○事務経費等 149万2千円
○応急復旧業務委託料 1,608万円
市道・河川土砂取り除き業務
○災害復旧工事 600万円
田万川地域小川地区 市道神田上線^{しんでかみ}

[財源内訳] 災害復旧費国庫負担金 480万円
市債 120万円
雑入（災害基金処分交付金） 1,757万2千円

■市営住宅災害復旧事業（2億1,279万5千円）

【予算説明書13ページ 土木施設災害復旧費】
（担当課：建築課）

被災した田万川、須佐地域の市営住宅の復旧を行います。なお、下記の田万川地域小川地区のおそ吹原^{おそきばら}団地の被災した合併処理浄化槽の復旧については、17ページに記載の事業で行います。

対象団地：○田万川地域	江崎地区	おおさわ 大沢団地	10戸
		やはた 八幡団地	2戸
○須佐地域	小川地区	みあけ 三明団地	4戸
		おそきばら おそ吹原団地	12戸
		なかづ 中津第1団地	16戸
	須佐地区	やまねちょうひがし 山根丁東団地	20戸
		うらひがし 浦東団地	12戸
		計	76戸

事業内容：建物、外構、電気・機械設備の復旧

[財源内訳] 災害復旧費国庫補助金 8,607万9千円
市債 1億2,670万円
雑入（災害基金処分交付金） 1万6千円

■児童クラブ災害復旧事業（228万4千円）

【予算説明書13ページ 民生施設災害復旧費】
（担当課：子育て支援課）

被災した須佐地域の育英児童クラブについて、床下に堆積した汚泥の除去洗浄及び床材の張替等を行います。

[財源内訳] 災害復旧費県補助金 178万5千円
市債 49万9千円

■保育園施設災害復旧事業（2,029万円）

【予算説明書13ページ 民生施設災害復旧費】
（担当課：子育て支援課）

被災した田万川保育園小川分園及び須佐保育園について、流出した教材の整備等を行います。また、田万川保育園小川分園については、復旧工事に着手します。

事業内容：○田万川保育園小川分園
教材の整備、災害復旧工事監理業務、災害復旧工事、備品の整備
○須佐保育園
教材の整備

[財源内訳] 災害復旧費県補助金 699万2千円
市債 1,020万円
雑入（災害基金処分交付金） 309万8千円

■須佐保健センター災害復旧事業（442万1千円）

【予算説明書13ページ 衛生施設災害復旧費】
（担当課：健康増進課）

被災した須佐保健センターの機能を回復させるため、復旧を行います。

事業内容：設計業務委託料

[財源内訳] 市債 440万円
雑入（災害基金処分交付金） 2万1千円

■須佐文化センター災害復旧事業（205万2千円）

【予算説明書14ページ 社会教育施設災害復旧費】
（担当課：文化・生涯学習課）

被災した須佐文化センターにおいて、浸水の影響により、多目的ホールの電動式移動観覧席に不具合が生じていることから、設備の修繕等を行います。

[財源内訳] 雑入（災害基金処分交付金） 205万2千円

■小学校施設ネットワーク機器復旧事業（84万9千円）

【予算説明書14ページ 公立学校施設災害復旧費】
（担当課：学校教育課）

被災した小川小学校において、校内ネットワーク機器の復旧を行います。

[財源内訳] 災害復旧費国庫負担金 57万1千円
雑入（災害基金処分交付金） 27万8千円

■小学校施設災害復旧事業（1億1,833万5千円）

【予算説明書14ページ 公立学校施設災害復旧費】
（担当課：教育委員会総務課）

被災した小川小学校及び育英小学校の各校舎・屋内運動場について、床下に堆積した汚泥の除去洗浄及び床材の張替等を行います。

[財源内訳] 災害復旧費国庫負担金 7,967万8千円
市債 3,860万円
雑入（災害基金処分交付金） 5万7千円

■ 国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7億4,702万円	479万5千円	7億5,181万5千円

2. 歳出予算の事業内容

■ 須佐診療センター診療再開事業（422万円）

【予算説明書 24 ページ 医療用機械器具費】
（担当課：地域医療推進課）

豪雨災害の影響により、須佐地区の民間医療機関が廃業することになり、延期となっていた須佐診療センターの診療再開（急患を除いて予約制）について、診療日時等を見直したことから、必要となる医療器具を購入します。

事業内容：医療器具費購入
・全自動血球計数装置
・尿分析器
・AED など

〔財源内訳〕 県補助金 206万2千円
一般会計繰入金 215万8千円

■ 診療所災害復旧事業（57万5千円）

【予算説明書 24 ページ 災害復旧費】
（担当課：地域医療推進課）

診療再開を予定している須佐診療センターについて、豪雨災害により、水没したエアコン室外機等の修繕を行います。

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 57万5千円

■ 簡易水道事業特別会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
3億5,680万5千円	1,220万円	3億6,900万5千円

2. 歳出予算の事業内容

■職員人件費（330万円）

【予算説明書 30 ページ 一般管理費】
（担当課：水道管理課）

豪雨災害により、簡易水道施設災害復旧・復興業務に係る職員の時間外勤務が相当発生しているため、必要となる時間外勤務手当について補正を行います。

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 330万円

■簡易水道施設災害復旧事業（890万円）

【予算説明書 30 ページ 簡易水道施設災害復旧費】
（担当課：水道管理課）

豪雨災害により被災した簡易水道施設の復旧に向け、二次被害の未然防止及び道路等の復旧に伴う配水管の布設替工事等の経費を計上します。

事業内容：○機械機器取替修理
○土砂取り除き業務委託
○配水管布設替工事 など

〔財源内訳〕 市債 890万円

■ 特定環境保全公共下水道事業特別会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
3億2,760万円	4,849万1千円	3億7,609万1千円

2. 歳出予算の事業内容

■職員人件費（218万4千円）

【予算説明書 41 ページ 一般管理費】
（担当課：下水道建設課）

豪雨災害により、公共下水道施設災害復旧・復興業務に係る職員の時間外勤務が相当発生しているため、必要となる時間外勤務手当について補正を行います。

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 218万4千円

■特定環境保全公共下水道施設災害復旧事業（4,630万7千円）

【予算説明書 41 ページ 特定環境保全公共下水道施設災害復旧費】
（担当課：下水道建設課）

豪雨災害により被災した須佐地区の公共下水道施設の復旧に要する経費を追加計上します。

〔財源内訳〕 災害復旧費国庫補助金 2,933万3千円
市債 1,460万円
一般会計繰入金 237万4千円

■ 農業集落排水事業特別会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
6億6,300万3千円	1億1,640万5千円	7億7,940万8千円

2. 歳出予算の事業内容

■職員人件費（122万9千円）

【予算説明書 51 ページ 一般管理費】
（担当課：下水道建設課）

豪雨災害により、集落排水施設災害復旧・復興業務に係る職員の時間外勤務が相当発生しているため、必要となる時間外勤務手当について補正を行います。

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 122万9千円

■農業集落排水施設災害復旧事業（1億1,517万6千円）

【予算説明書 51 ページ 農業集落排水施設災害復旧費】
（担当課：下水道建設課）

豪雨災害により被災した田万川地域下田万地区並びにむつみ地域高佐地区及び片俣地区等の集落排水施設の復旧に要する経費の追加補正を行います。

〔財源内訳〕 災害復旧費国庫補助金 5,400万円
市債 6,090万円
一般会計繰入金 27万6千円

■ 個別排水事業特別会計

1. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
1,230 万円	196 万 4 千円	1,426 万 4 千円

2. 歳出予算の事業内容

■ 個別排水施設災害復旧事業（196 万 4 千円）

【予算説明書 60 ページ 個別排水施設災害復旧費】
（担当課：下水道建設課）

田万川地域おそ吹原地区^{ふきばら}の個別排水施設（合併浄化槽）が被災したことから、これらの復旧に要する経費の補正を行います。なお、それぞれの住宅の復旧については、9ページ下段及び10ページ下段に記載の事業で行います。

〔財源内訳〕 一般会計繰入金 196 万 4 千円